

多り畑遺跡現地説明会資料

平成21年12月26日



平成21年12月22日撮影

(財)愛知県教育・スポーツ振興財団
愛知県埋蔵文化財センター
(株)イビソク

多り畑遺跡にかかわる年表

時 代

約12,000年前

縄文時代

約8,000年前

出土遺物:押型文土器 ➡ 出土遺物展示場
建物を想起させる遺構 ➡ **右ページB・C・E**

約2,400年前

弥生時代

土器 棺墓 ➡ 出土遺物展示場
➡ **右ページD**

3世紀～

古墳時代

出土遺物:土師器
須恵器 ➡ 出土遺物展示場
竪穴住居 ➡ **右ページA・F**

6世紀終わり～

飛鳥時代

8世紀～

奈良時代

9世紀～

平安時代

12世紀終わり～

鎌倉時代

出土遺物:山茶碗 ➡ 出土遺物展示場
右ページG

13世紀初め

南北朝時代

14世紀初め～

室町時代

16世紀後半～

戦国時代

17世紀～

江戸時代

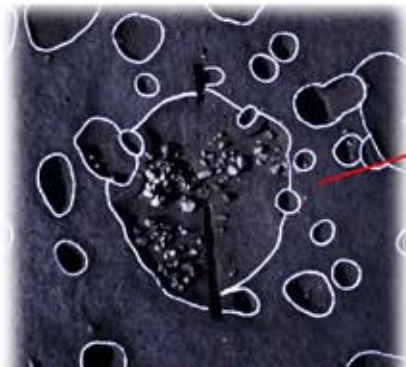
掘立柱建物 ➡ **右ページH**

多り畑遺跡は日当たりが良く、川がすぐ側にあり、水の確保がしやすいことも合って暮らしやすい場所だったと思われます。そのため縄文時代の早い段階から、各時代に渡って人が居住したようです。中世頃になると、建物などの建築のために、地面を削って平らにしたようで、中世から近世にかけての区画溝とみられる溝が、遺跡の内部に大きくつくられています。

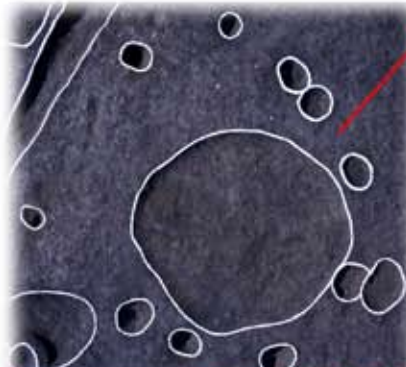
遺跡の見所



D: 土器棺墓 (弥生時代)



C: 建物跡 (縄文時代早期)



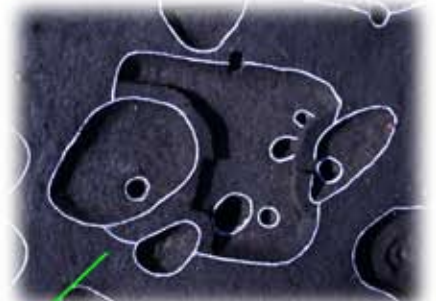
B: 建物跡 (縄文時代早期)



A: 住居跡 (古墳時代)



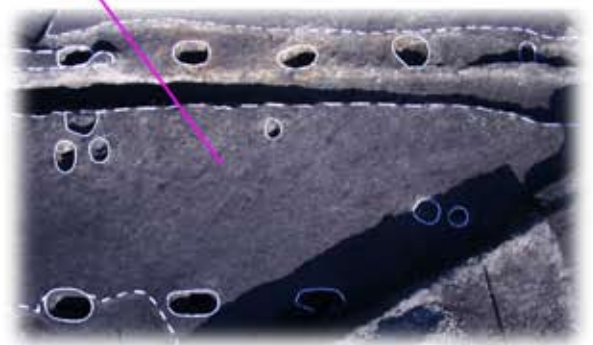
E: 集石遺構 (縄文時代早期)



F: 住居跡 (古墳時代)

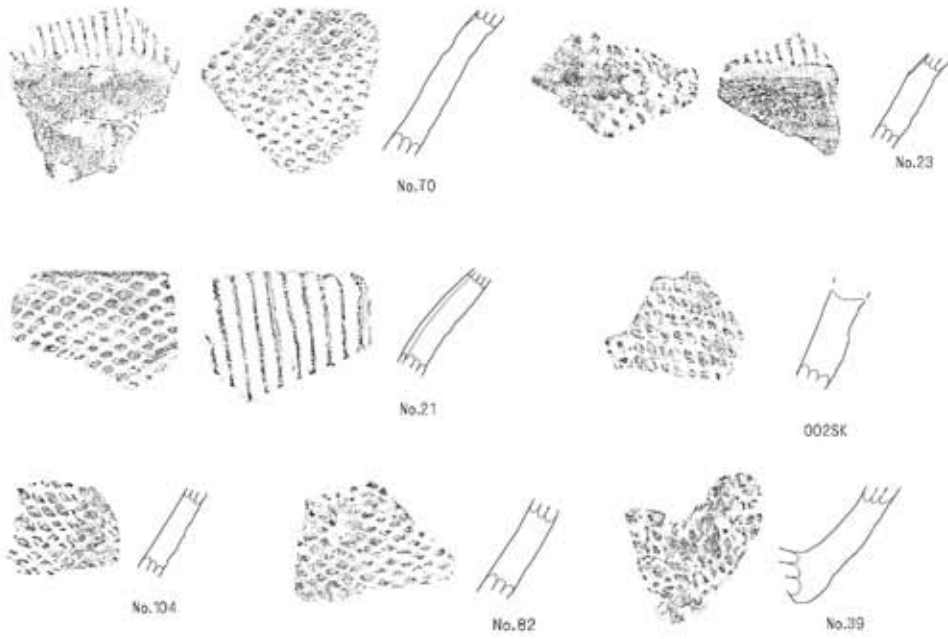


G: 住居跡 (鎌倉時代)

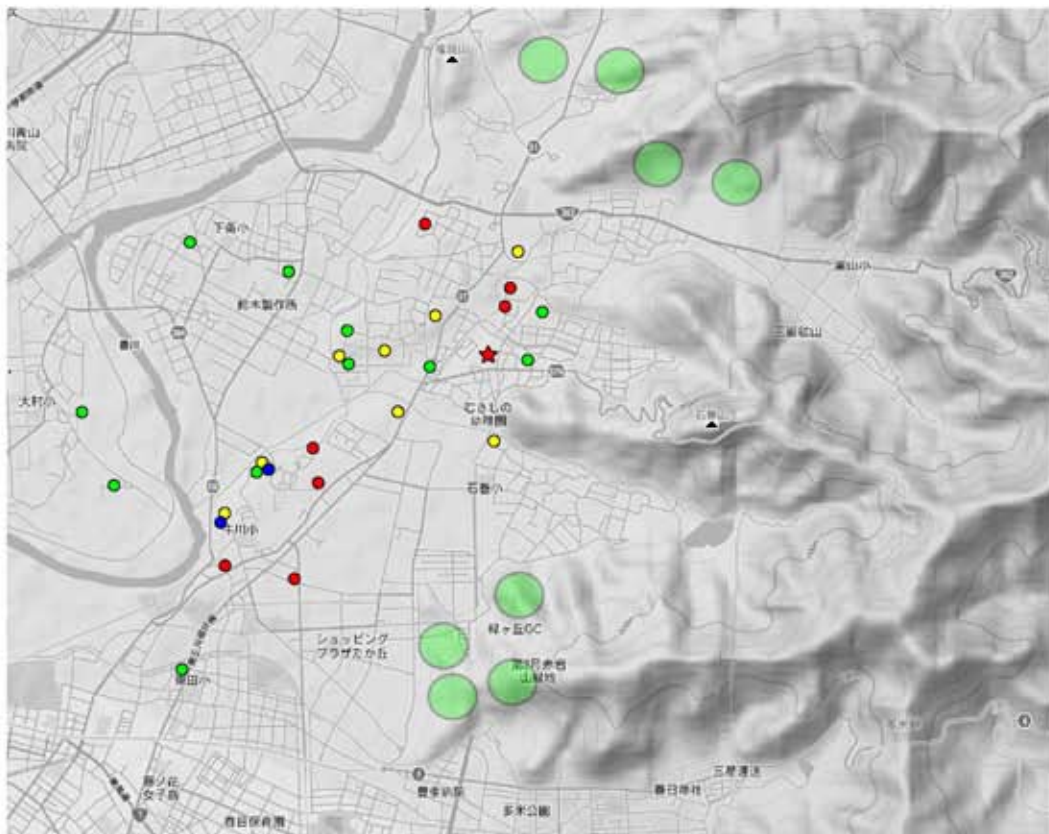


H: 掘立柱建物跡 (江戸時代)





多り畑遺跡出土の押型文土器 (縮尺 1/3)



周辺の遺跡

- ★ 多り畑遺跡
- 縄文時代の遺跡
- 弥生時代の遺跡
- 古墳時代の遺跡
- 中世の遺跡
- 主な古墳群